

山燃える紅葉の秋、関係各位におかれましては、ご健勝にてますますご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は本法人のカンボジア支援活動に絶大なるご協力ご支援を賜り、衷心よりお礼を申し上げます。



上半期の事業もほぼ計画通り、以下の通り展開してきています。

- ◇本年度第1回のカンボジア訪問においては、運動会普及事業第2弾として、シェムリアップ州教員養成学校において運動会を開催しました。バイヨン中学校と比べると練習時間はずいぶん短かったものの、さすが教員を目指す学生集団、要所にクメール文化の薫り高い音楽や踊りを取り込み、スポーツと伝統文化を融合した特異な運動会が実現できました。次回1月の第2回運動会の創造にますますの期待が膨らむところです。
- ◇第4回カンボジア王国シェムリアップ州教員研修招聘事業(9月7日～14日)は、連日笑顔と感動の連続。私たち日本人にとってはごく当たり前も、使節団員にとって感動の対象。雲に煙る連山の景色は、もっとも印象深い日本の風景となりました。また、校長室に居並ぶ歴代校長の写真は、日本の学校教育の厚みと充実ぶりを印象付けるものになっていました。◇9月21日には、コンテナ輸送事業を実施し、支援者の皆さんからのコンテナ満載の寄贈品に加えて、共に生きる地球市民としての愛情もドッサリ詰め込むことができました。8,800余点の品々が、ますます絆を深めるものになることを期待しつつ。



- ◇10月には、2会場に於いて「カンボジア子ども絵画展」を開催。出展作品は、カンボジア在住笠原知子氏主宰の「小さな美術スクール」で学ぶ子どもたちもの。描くことへの情熱を、カンボジアから逆輸入した絵画展となりました。

〔コンテナ輸送事業〕国際ソロプチミスト豊橋ポートの推薦を受け、ソロプチミスト日本財団より活動資金助成をいただいて実施した「コンテナ輸送事業」は、9月21日蒲郡より発送、名古屋港を経て船便で、そして、予想外に早く11月3日現地到着となりました。

一昨年10月に実施した第1回のコンテナ輸送事業実施の後、昨年度より各種団体・企業や篤志家の皆様から預かっていた寄贈品は約8,800点。スチール戸棚、移動黒板、卓球台、自転車、各種太鼓などの大型荷物に加え理科・図工備品、文房具・靴・靴・ジャージ・子ども用衣類など、20Fコンテナに溢れんばかりの品々で、詰め込む際の配置に大変手間取り苦労をしました。

現地の多くの学校では、教材備品を学校予算で購入する余裕はなく、テストの用紙代も保護者から集



現地バイヨン中学校での積み降ろし作業

金することが一般的。ましてや、黒板と鉛筆・ノート以外の教具を使用しての授業は皆無といっているほど。これらの教育条件の貧弱さが、義務教育といえども小中学校の就学率を下げている結果となっています。寄贈いただいた品々は、現地の子どもたちの学力向上、生活改善に資するだけでなく、将来に向けての可能性を拓く役割を担っていると考えます。

現地の子どもや学校関係者になり代わり、このたびの寄贈品事業をご支援・ご協力いただきました関係各位に感謝いたします。ありがとうございました。